

一人ひとりの暮らしを守るため

清水市長に来年度予算要望書を提出

かみさかたつあき公明党市議会議員 市政レポート Vol.71



9/14、清水市長に対し「令和5年度予算編成並びに施策に対する要望書」を提出しました。

要望書では、具体的な施策として177の視点から重点項目23項目、各局別として120項目を記載。これらの多くは「切実な市民の声」をもとに練り上げたものです。

かみさかは、少子高齢化社会を見据え、新たな支援策や経済対策などを提案し、市民一人ひとりの笑顔かがやく未来を拓いてまいります。

教育センター跡地が「ヌウパーク」として誕生！



2011年3月総合教育センターが行田市に移転。跡地利用について、地元自治会を中心に公園整備を求める署名約12,000筆が提出されました。しかし、遅々として進まない状況に「民間に売却されるのでは」との憶測や不安が広まりました。そこで、2013年、武笠市議（当時）と神坂が県庁に出向き「民間には売却しない」との言質を担当者から取り付けました。その後、地元自治会の方々と公園の勉強会を開催。その成果として自治連の皆さんと市議（自2・民・公）4名の連名で市長へ要望書を提出。市長からは「時間はかかるかもしれないが着実に推進していく」との確約をいただき公園建設に向け歯車は大きく動き始めました。オープンまであと3年。住民から親しまれるヌウパークの完成が待ち遠しい限りです。なお、今回の議案に対し緑区5名の議員のうち共産党のみが反対し全会派一致とならなかったことは唯々残念でなりません。

かみさか たつあき

1 高校生まで医療費無償化を拡充し、子育て負担の軽減を図るべきである!

高校生までの医療費をどうするかは重要な課題と認識しています。将来にわたり持続可能な制度として安定的に実施していくため、財政負担を念頭に他自治体の取組を注視し、市民ニーズや取り巻く環境を踏まえ検討を進めてまいります。(副市長答弁)

2 超高齢化社会に備え、路線バスに100円で乗れるシルバーパス制度を創設すべきである!

超高齢社会のさらなる進展を見据えた公共交通の利用促進や外出機会の創出は課題と認識しています。議員ご提案の高齢者バス運賃助成制度の検討も含め、交通環境の充実に向けて取り組んでまいります。(副市長答弁)

3 弱視の割合は約50人に1人、子どもの目を守るため3歳児検診に屈折検査を導入すべきである!

令和5年度より、屈折検査の本格実施に向け調整を進めます。屈折検査の導入により、治療可能な弱視の見逃しをなくし、子どもの健やかな成長発達が促されるよう努めてまいります。(市長答弁)

4 駅や通学路に防犯カメラを設置し安心・安全な街づくりを推進すべきである!

市内の全ての駅を対象に街灯防犯カメラの設置拡大を視野に入れ検討してまいります。(市長答弁)



5 緑区には体育館がない、スポーツ先進都市として、早急に体育館を整備すべきである!

新設する体育館については、市民大会等が行える施設を美園地域に想定しています。今後は、市の未利用地の活用を含めた建設地の選定や整備手法の検討を行ってまいります。(副市長答弁)

